



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年8月5日

上場会社名 カンロ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2216 URL <https://www.kanro.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三須 和泰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 阿部 一博 (TEL) 03 (3370) 8811
 C F O財務・経理本部長
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 2021年8月27日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の業績 (2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	11,640	4.4	436	26.8	457	30.3	367	53.6
2020年12月期第2四半期	11,152	△5.4	344	△31.1	351	△30.6	239	1.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	52.17	—
2020年12月期第2四半期	33.95	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	19,115	11,370	59.5
2020年12月期	19,779	11,175	56.5

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 11,370百万円 2020年12月期 11,175百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	15.00	—	17.00	32.00
2021年12月期	—	15.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,700	5.9	870	4.0	900	4.5	660	8.1	93.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年12月期2Q	7,657,802株	2020年12月期	7,657,802株
2021年12月期2Q	606,590株	2020年12月期	606,390株
2021年12月期2Q	7,051,312株	2020年12月期2Q	7,051,508株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行 (信託口) の保有する当社株式 (2021年12月期第2四半期123,600株、2020年12月期103,600株) が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] 2ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、T D n e t で本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期貸借対照表	P. 3
(2) 四半期損益計算書	P. 5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（以下、「当第2四半期」）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続しており、ワクチン接種が徐々に進んでいるものの、依然として収束時期の見通しは立たず、先行き不透明な状況が継続しており、個人消費も弱い動きとなっております。

キャンディ市場におきましては、足元で持ち直しの動きがあるものの、継続する人流の制約やマスク着用の常態化の影響により消費が落ち込み、市場全体では前年同期比減少となりました。一方、グミカテゴリーについては全チャネルで回復に転じており、前年同期比増加となりました。

このような事業環境下、当社では中期経営計画「NewKANRO 2021」の基本戦略である「成長戦略」と「経営基盤の強化」の両輪の施策を推進し、「新しい生活様式」への対応を進めた結果、当第2四半期の売上高は前年同期比4億87百万円（4.4%）増収の116億40百万円となりました。

売上高の状況を商品カテゴリー別に見ると、飴は、のど飴を中心に袋形態が大きく減少すると共に、オフィス・行楽消費の減少によりスティック・コンパクトサイズ形態の減少が継続し、前年同期比減収となりました。製品別では、「健康のど飴」シリーズ、「ノンシュガースーパーメントールのど飴」、「ノンシュガー果実のど飴」、「金のミルク」など主力ブランドの多くが前年割れとなりました。素材菓子は、コンビニエンスストアでのプライベートブランド化が進んだことを受け、同様に前年同期比減収となりました。これに対し、グミは、前年同期比大幅な増収となりました。主力ブランドである「カンデミーナグミ」、リニューアルした「ピュレグミ」や親子向けの「ピュレリング」が好調に推移し、グミに空気を閉じ込める技術により新たな食感を実現した新製品「マロッシュ」（マッシュマロ商品）も好評を博しており、グミの増収が、飴・素材菓子の減収を上回る結果となりました。

利益面では、売上総利益は増収並びに生産金額増加による売上原価率の低減により、前年同期比4億25百万円（8.2%）増益の56億円となりました。

営業利益は、販促費の前年からの反動増や、人員増に伴う人件費増加と、一部費用の下期への期ズレが相俟って前年同期比92百万円（26.8%）増益の4億36百万円、経常利益は工場設備据付遅延に伴う損害金収入も加わり前年同期比1億6百万円（30.3%）増益の4億57百万円となりました。

また、政策保有株式の縮減に伴う前年を上回る投資有価証券売却益の計上等により、四半期純利益は前年同期比1億28百万円（53.6%）増益の3億67百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ6億63百万円（3.4%）減少し191億15百万円となりました。

これは主に現金及び預金が6億49百万円、商品及び製品が2億58百万円増加しましたが、売掛金が12億51百万円、有形固定資産が1億41百万円、投資有価証券が1億17百万円減少したことによるものです。

負債の部は、前事業年度末に比べ8億59百万円（10.0%）減少し77億44百万円となりました。

これは主に買掛金が1億43百万円、未払費用が1億33百万円増加しましたが、短期借入金が5億円、未払金が2億79百万円、賞与引当金が2億31百万円減少したことによるものです。

純資産の部は、前事業年度末に比べ1億95百万円（1.8%）増加し113億70百万円となりました。

これは主に四半期純利益3億67百万円の計上と配当金1億21百万円の支払によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の通期業績予想につきましては、2021年6月24日付「第2四半期（累計）及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で発表したとおりであります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,313,031	1,962,321
売掛金	6,090,805	4,839,368
商品及び製品	585,357	843,630
仕掛品	7,820	99,165
原材料及び貯蔵品	236,471	260,813
その他	309,306	194,554
流動資産合計	8,542,792	8,199,853
固定資産		
有形固定資産		
建物	6,834,536	6,871,792
減価償却累計額	△3,514,692	△3,639,048
建物(純額)	3,319,844	3,232,743
機械及び装置	12,852,273	13,161,950
減価償却累計額	△9,176,048	△9,321,723
機械及び装置(純額)	3,676,224	3,840,227
土地	1,497,709	1,497,709
その他	2,609,862	2,650,484
減価償却累計額	△1,947,439	△1,977,323
その他(純額)	662,423	673,161
建設仮勘定	282,761	53,888
有形固定資産合計	9,438,963	9,297,729
無形固定資産	191,356	178,190
投資その他の資産		
投資有価証券	282,851	164,880
繰延税金資産	879,787	832,740
その他	443,548	442,025
投資その他の資産合計	1,606,187	1,439,646
固定資産合計	11,236,507	10,915,566
資産合計	19,779,299	19,115,419

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,597,976	1,741,289
短期借入金	1,000,000	500,000
未払金	979,729	700,722
未払費用	1,666,235	1,799,254
未払法人税等	234,316	131,126
賞与引当金	554,967	323,687
役員賞与引当金	65,200	33,375
その他	167,762	126,326
流動負債合計	6,266,188	5,355,782
固定負債		
退職給付引当金	2,105,097	2,151,366
役員株式給付引当金	127,372	145,981
その他	105,577	91,430
固定負債合計	2,338,047	2,388,777
負債合計	8,604,235	7,744,559
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,864,249	2,864,249
資本剰余金	2,550,983	2,560,839
利益剰余金	6,329,880	6,576,104
自己株式	△653,296	△663,442
株主資本合計	11,091,818	11,337,751
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	83,234	33,084
繰延ヘッジ損益	10	24
評価・換算差額等合計	83,245	33,108
純資産合計	11,175,063	11,370,860
負債純資産合計	19,779,299	19,115,419

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	11,152,700	11,640,539
売上原価	5,978,084	6,040,303
売上総利益	5,174,615	5,600,235
販売費及び一般管理費	4,830,304	5,163,572
営業利益	344,311	436,663
営業外収益		
受取利息	43	28
受取配当金	4,973	3,177
損害金収入	—	12,474
売電収入	4,198	5,201
その他	3,544	5,200
営業外収益合計	12,760	26,082
営業外費用		
支払利息	1,527	2,092
売電費用	2,704	2,771
その他	1,563	195
営業外費用合計	5,796	5,060
経常利益	351,275	457,685
特別利益		
投資有価証券売却益	47,882	88,807
特別利益合計	47,882	88,807
特別損失		
固定資産除却損	457	3,187
減損損失	8,281	18,720
特別損失合計	8,738	21,908
税引前四半期純利益	390,419	524,585
法人税、住民税及び事業税	14,548	87,573
法人税等調整額	136,453	69,153
法人税等合計	151,001	156,726
四半期純利益	239,417	367,858

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。